

未来に活かさせ復帰の精神

大高ジャーナル

発行所
鹿児島県立大島高等学校
新聞同好会
奄美市名瀬安勝町7-1

奄美日本復帰特集号

- 1面…本校生復帰運動担う
- 2面…島人キーパーソンに聞く
- 3面…あの頃の大高拡大版
- 4面…体育祭特集
- 5面…大高生夏の活躍
- 6面…しまんちゅ釣り人発見他

大高ミニギャラリー



「男はつらいよ 寅次郎紅の花」はシリーズ最終作。奄美が舞台で必見の名作。



奄美大島 鹿児島県本土から南西約370km、面積712.35km²、広さ日本5位(本州等4島除く)の島、亜熱帯海洋性気候、奄美群島国立公園の一部

大高坂

10月22日から31日にかけて行われた天皇即位の礼。その中で、22日に行われた即位礼正殿の

日本復帰66周年

世界に誇る郷土史 本校生運動の中心担う

毎年12月25日の「日本復帰記念の日」には、復帰運動の拠点となった名瀬小学校(奄美市)で、奄美市や民間団体が主催の「日本復帰記念の日(つどい)」が開かれ、日本復帰を振り返る機会となっている。小中学校での授業等で、1953年(昭和28年)の奄美群島の日本復帰の事実そのものについては学んでいる本校生は多い。しかし、その運動の具体的な内容や、大島高校生がその中心となり活躍したということについて、私たちはほとんど知らない。大高ジャーナルでは、復帰運動の伝承の活動を続けておられる本校の卒業生、花井恒三さんにお話を伺った。



「奄美のトラさん」こと
はないこうぞう
花井恒三さん

1947年(昭和22年)10月 奄美大島出身の72歳。大退職の希望(入学会)市笠利町宇宿出身の奄美市役「奄美へ希等」市無償労働者名簿調査研究等。奄美市ラサヤ貢材のボート行を伝承する。ト移住人案の復帰運動を地域活性化の口島事務局長。内閣府地域活性化事務局長。奄美市名瀬小宿在住。道師。奄美市名瀬小宿在住。

当事者意識強く 大高生活躍

1951年(昭和26年)2月14日、「奄美大島日本復帰協議会」が発足し、泉芳朗(いずみほうろう)が議長に就任すると、大人だけでなく高校生らも加わり復帰運動が活発になっていきました。その理由として、米軍の統治下となった奄美群島の高校生たちは本土への進学や就職ができなくなり、地元の就職先も乏しく、復帰運動は高校生自身に

関わる問題だったからです。復帰協議会の発足と同時に署名活動が始まりました。4月には対象となった満14歳以上(立志式年齢の中学2年生)の島民99.8%の署名が集まりました。その署名は、吉田茂首相や外務省等に提出されました。大高生は学校で署名し、印鑑がないので拇印を押ししました。

同年7月13日の名瀬市民総決起大会が名瀬小学校校庭で行われましたが、多くの市民がプラカード

を持って集まったため、米軍から中止命令が出されたんです。結局プラカードを使用しないという条件で大会は開かれました。この時大島高校の生徒は持参したプラカードを大会後に持ち帰るのですが、その時にそれを掲げて大高まで行進しました。住民からの大高生への期待は大きく、名瀬小学校での「日本復帰の歌」やシュプレヒコールの音頭は、大高生の役割で、石段に立ってリードしました。また、大高橋や出身身落で手製のメガホンを持ち演説する大高生もいました。最初は見向きもされませんでした。徐々に聞く人が増えたそうです。大高の講堂は復帰運動の集会場として活用されました。1952年(昭和27年)8月1日、泉芳朗は、高千穂神社で日本復帰を祈願した断食を5日間実施しました。この断食は群島民にも広まり、小中高生も昼食を抜いたそうです。

1953年(昭和28年)1月31日、大島高校生を含む群島内の各高校生代表9名が復帰使節として鹿児島県本土に出発し、

1946年2月2日の「連合国宣言(二・二宣言)」によって、奄美を含む北緯30度以南の南西諸島は行政分離され、アメリカの統治下に置かれた。米軍政府下に置かれた島々には日本本土への渡航が出来なくなり、米軍からの物資や予算も十分なものでもなかった。そのため、口之島や中之島を拠点とした密航が行われていたが、奄美群島内での復帰運動は米軍に抑えられていた。

1953年8月8日、ダレス國務長官が奄美群島を日本に返還する声明を発表し、12月15日返還されることになった。1951年2月14日の「奄美大島日本復帰協議会」の発足、泉芳朗(いずみほうろう)の議長就任であった。また、同時期に行われた署名活動では14歳以上の群島民の99.8%が署名し、奄美大島が日本に復帰するまで27回もの集会が名瀬小学校の校庭で行われた。1952年4月28日、対

12月24日の夕方、日米間で奄美群島返還協定への調印が行われ、翌日午前0時に奄美群島の日本復帰が実現した。「大切な話は方言で」という、かつて奄美群島が薩摩藩の支配下にあったときにも使われていた知恵を使い、復帰運動は武力を伴わずに行われた。しかし、当時の様子を実際に聞くことが困難になりつつある。

当時の人々の苦労や努力によって今の奄美大島があることを忘れてはならない。大島高校は、当時の奄美の最高学府と自覚して、運動の中心を担った。ぜひ多くの先人たちが聞き取りをして、記録を残し、これからの奄美を担う若者としての自覚を深めてほしい。

ダレス声明に感謝する郡民大会(名瀬小学校校庭)1953年8月9日

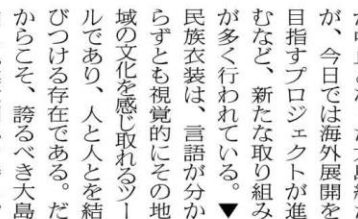
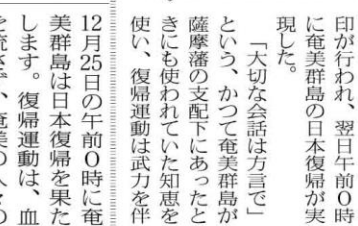
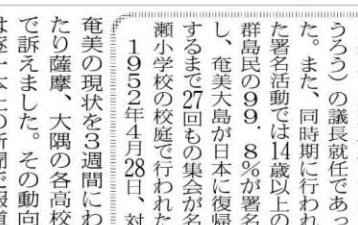
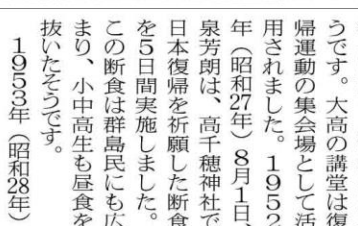
「新聞制作に携る自分たちが聞き取りと記録を担いたい」と感じた。

「新聞制作に携る自分たちが聞き取りと記録を担いたい」と感じた。

「新聞制作に携る自分たちが聞き取りと記録を担いたい」と感じた。

「新聞制作に携る自分たちが聞き取りと記録を担いたい」と感じた。

「新聞制作に携る自分たちが聞き取りと記録を担いたい」と感じた。



「安田・松村」

「玉城」

しまっちゅ 島人 キーパーソンに聞く

Vol.2

島唄の伝統の継承を訴え 先人たちの高みに挑戦の日々

Q 島唄を始めたきっかけは何ですか？
A 高校時代はロックバンドを組んで激しい音楽やポップスばかりを演奏していましたが、どこか懐かしさを感じたので、まったく島唄に興味はありませんでした。ですが、19歳のときに、ある施設で夏祭りのボランティアに参加した時、ある年配の男性が歌う島唄「ヨイスラ節」を聞いて、言葉にならない程感動しました。決して

今まさに活躍中のホットな島人に焦点を当ててインタビューする「島人(しまっちゅ)キーパーソン」に。第2回は、奄美を代表する若手唄者の前山真吾さん。大河ドラマ『西郷どん』の劇中歌も担当した今注目の唄者だ。奄美の島唄への熱い思いを語る中で、ストイックに修行を続け、島唄の将来を考える真摯な姿勢がにじみ出ていた。

(要田のか、要田悠那他3名)



島唄の伝統を追究し その魅力を発信する若手唄者 前山真吾さん(36)

1983年(昭和58年)3月13日、奄美市名瀬つ生まれ。19歳での衝撃的な島唄との出会いをきっかけに、宇検村の石原久子に師事、島唄新人賞を受ける。2005年「奄美民謡大賞」新人賞、2011年「奄美民謡大賞」男性唄者賞として10年ぶりに大賞を受賞。地元奄美はもとより、国内外で広く島唄を歌い続ける。2018年、大河ドラマ『西郷どん』劇中歌担当。現在、介護老人保健施設「虹の丘」(奄美市)に勤務し、ケアマネージャーを務める。多忙な日々を過ごす中で、お年寄りが「なちかしや(なちかし)」と認めてくれるような伝統的スタイルを追究しつつ、次世代への文化継承のために日々思考する。奄美市名瀬浦上町在住。

美しいとは言えない歌声でしたが、どこか懐かしさ、強く惹かれる何かがありました。私は「なぜ今まで興味なかったのか」とショックを受けました。当時は、若者で島唄をやっている人が少なくて「私が島唄をやっている」と決意した

「なちかしや」と決意した。その後、順調にマスターしていったのですか？
A いいえ。僕にとっての第2次ショックともいえるのが、「唄あしび(唄遊び)」との出会いで、上手に歌いたいです。脱却しようと思ったんです。お年寄りは単に上手に歌うだけだと勝手に思っていました。また、唄に登場する人物の裏付け、石碑巡り等のフ



す。自分では猛練習をしてそれなりに唄が歌えるようになったと思っていた頃に、唄者の西和美さんが経営する、郷土料理「かずみ」(名瀬末広町)のイベントに呼ばれ、唄あしびをする機会があったんです。唄あしびってというのは、一つの唄を、複数人で掛け合いをして唄うことなんですけど、参加した僕は、交わされる歌詞も理解できず、掛け合いの輪にまったく入れず大ショックを受けました。このことをきっかけに、「きれいな声で、上手に歌いたい」と思っていた自分から脱却しようと思ったんです。お年寄りは単に上手に歌うだけだと勝手に思っていました。また、唄に登場する人物の裏付け、石碑巡り等のフ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

論説

高い当事者意識をもち社会と向き合おう 世界の動向や、郷土の歴史に学べ

最近、ニュース等では若者がその言動を通して、明るい未来を切り開こうとする姿をよく目にします。

私たちが高校生が特に注目するのは16歳のスウェーデンの少女グレタ・トゥンベリさんだ。グレタさんは、米ニューヨークの国連本部で9月23日開かれた気候行動サミットで演説者として登場し、地球温暖化に関する具体的な数値を示し、IPCC(気候変動に関する政府間パネル)の最善の見立てである2018年1月1日時点で世界に残された二酸化

炭素排出許容量に8年半も経たずに達してしまうことに警鐘を鳴らした。そして彼女は、「私たちが失望させる選択をすれば、決して許さない」と述べ、地球温暖化への対策を早急に行うよう各国首脳に要求した。こうした彼女の姿勢に、各国の環境政策に対する国際世論の目は厳しさを増している。一人の少女の言動が世界の国々の動向に影響を与えていることに、私たちは驚かされた。

また、大きく報道されている香港の大規模デモにおいても若者たちの姿が連日テレビ画面に流れている。このデモは、1国2制度のもとで、民主的な政治が行われている香港と中国本土との間で犯罪者の引き渡しはできないという現在の「逃亡犯条例」が改正されることへの反対運動だ。香港の人々は、「逃亡犯条例」の改正により、民主化運動等の中国の意向に沿わない活動を行っただけで、中国本土への身柄を引き渡されることを恐れたのだ。そして、彼らの思いが届いたのか、10月23日香港政府は「逃亡犯条例の改正作

業は完全に停止した」とし、改正案を廃案とした。こうしたニュースを見ていて、私たちはグレタさんの言動の激しさに違和感を感じる大人たちが多いことも理解できる。また、香港のデモが暴徒化し混乱が広がることを決して望ましく思わない。しかし、2つのニュースから共通して学べるのは、明るい未来を切り開くためには、若者が世の中の動きに無関心であってはならないということだ。

「奄美のトラさん」こと花井恒三さんが教えてくださった奄美群島の日本復帰運動では、大島高校生が高い当事者意識をもって、社会と向き合うことが大切だ。

「奄美のトラさん」こと花井恒三さんが教えてくださった奄美群島の日本復帰運動では、大島高校生が高い当事者意識をもって、社会と向き合うことが大切だ。

「奄美のトラさん」こと花井恒三さんが教えてくださった奄美群島の日本復帰運動では、大島高校生が高い当事者意識をもって、社会と向き合うことが大切だ。

「奄美のトラさん」こと花井恒三さんが教えてくださった奄美群島の日本復帰運動では、大島高校生が高い当事者意識をもって、社会と向き合うことが大切だ。

「奄美のトラさん」こと花井恒三さんが教えてくださった奄美群島の日本復帰運動では、大島高校生が高い当事者意識をもって、社会と向き合うことが大切だ。

「奄美のトラさん」こと花井恒三さんが教えてくださった奄美群島の日本復帰運動では、大島高校生が高い当事者意識をもって、社会と向き合うことが大切だ。

「奄美のトラさん」こと花井恒三さんが教えてくださった奄美群島の日本復帰運動では、大島高校生が高い当事者意識をもって、社会と向き合うことが大切だ。

「奄美のトラさん」こと花井恒三さんが教えてくださった奄美群島の日本復帰運動では、大島高校生が高い当事者意識をもって、社会と向き合うことが大切だ。

「奄美のトラさん」こと花井恒三さんが教えてくださった奄美群島の日本復帰運動では、大島高校生が高い当事者意識をもって、社会と向き合うことが大切だ。



「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ

「なちかしや」といって、言葉にできないけどどこかグッとくるという懐かしさの境地です。私は唄が「お年寄り、若いお客さんがいない」ということは、島唄がなくなってしまうという危機感なのかもしれないです。ですから、私は唄の魅力を若い人たちに伝えていきたいと思うんです。私は、「なちかしや」探しの旅を続けたい。一方若人たちが気軽に楽しく唄の在り方というものを考えていかないといけないと思っています。本来の島唄を残しつつ、アレ



前山さんの島唄への真剣な思いに記者たちは心を打たれた。

拡大版

あの頃の大高

1936年(昭和11年)11月7日、兵庫県尼崎市生まれ。本籍は時高島郡高島町。大島高校に所属。大島高校に在籍中に、水泳部に所属。大島高校2年生の時に、奄美大島に復帰。高校卒業後、立正大学文学部地理学科に入学。平成元年～9年まで大島高校に在職。現在、奄美市名瀬石橋町に在住。



本紙1面では、「奄美のトラさん」花井恒三さんに、奄美群島の日本本土復帰に本校生徒たちが大きな役割を果たしたことを証言していただいた。そして、創立118年の本校の当時を知る方々に、それぞれの世代の思い出を語っていただく連載「あの頃の大高」では

65年前の春の思い出

(森田)

大高の門を通り、右側和親館の玄関付近には、昔、木造2階建ての校舎が建っていました。この校舎の西側は、小径を挟んで琉球球が、東側の中庭には農学校時代のゴムの樹が残っていました。65年前、3年生は竣工した木造2階建ての3年校舎東側の壁は、2年前高者の氏名が掲げられた箇所です。2階の窓から下を見下ろした時は、妙な



別な感じがしました。

先場所は幕内の上位での挑戦となり、大関高安から自身初の金星を勝ち取った。普段の稽古ぶりは他の力士も認める。横綱鶴竜に稽古のしづきをたしなめられることもあったという。

篠原さんが証言された、築年不詳の校舎の写真「百周年記念誌」169頁。確かに窓に雨戸もガラスもない校舎だ。



昭和27年頃の大島高校の校舎全景 本校「百周年記念誌」171頁より

篠原さんが3年生の時の教室があった新しい木造校舎。窓ガラスが見える。本校図書館の書庫に所蔵の写真は、篠原さんが確認した。



任の若い体育の先生が、鉄棒で大車輪をはじめ珍しい演技を次々と披露し始めた。その素晴らしい演技を見た時、当時の私は拍手と歓声が沸き起こっていたと思います。その



第5代校長 嘉野長夫氏

校長先生が、3年校舎を指差し「その3年」と怒鳴っています。その声と姿に、窓から乗り出していた私たちは首を引込み口々に悪態をつき、拳を握りしめながら教室に戻ったことでした。やがて始業の鐘が鳴りました。(ベルでもなくチャイムでもなく安陵の教え

日本復帰当初の 恩師のこころ

歌に出てくる鐘です。) 授業は国語でした。

リンピックの内村航平選手の演技以上のものを感じたのではないかと思えます。

演技毎に3年校舎から

どよめきが校長室まで届いたのか、気がついたら下から血相を変え

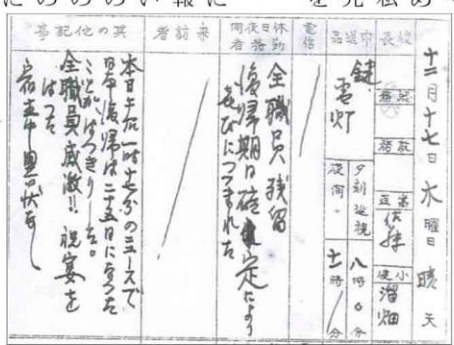
担当の先生は簡単な自己紹介の後、早速森陽外の高瀬舟の朗読を始めました。私は、当初先生に不満を感じました。というのは、大学受験に

対する秘訣・対策を伝授して下さるものと期待していたからです。それは、私だけではなく、他の生徒も同じらしく、ぶつぶつ私語が始まりました。その間先生は気にとめる風でなく、朗読を続けられていました。どのくらい時間を経ったのか、教室の中が静かになっていて、船頭の庄兵衛と主人公の喜助とのやりとりを朗読する先生の声に、耳を傾けていました。そのうち先生は、物語の山場と思われるあたりで余韻を残して朗読をやめていきました。その後の授業もしばらくの間冒頭で、五重塔、蜘蛛の糸、破戒と朗読は続きましたが、朗読にかける時間は短くなっていったと思

ます。先生の技で、いつの間にかクラスの授業中の雰囲気、当初の頃とは違っていたことを思い出しました。

嘉野長夫校長先生のあの「喝」は、島でのんびりと高校生活を過ごしていた生徒への刻(とき)を促す恩師の言葉でした。その言葉の重みは後日味わいました。山本一先生の朗読は、単に教科に関心を持たせるだけでなく、名作を通して人の生き方を考えさせるものでした。長い人生の道程の中で、高校時代はほんの一瞬です。その短い期間、安陵の地で出会った先生・先輩・同輩、後輩との交わりでいただいた言葉や出来事を糧に、自分らしく羽ばたいて下さい。

1953年(昭和28年)12月17日の本校の学校日誌と思われる。「復帰期日確定により喜びにつつまれた。日本復帰は25日になりました。これは嬉しきこと。『全職員感激』等の記載が見える。本校「百周年記念誌」170頁



いも一れ奄美! 魅力発掘 Vol.4

「日本一土俵が多い島」奄美大島。次々と新たな若手が頭角を表し世代交代の波が押し寄せている角界で、奄美大島出身の力士が活躍している。今回は、躍進著しい明生(めいせい)を紹介する。



(C) 奄美相撲協会

アに悩まされ、1年半ほどはなかなか勝ちきれず、一時は引退まで考えられていた。しかし「やめたら生まれる憂鬱な相撲は多くの相撲ファンを湧かせている。今年の9月場所では3日目から7連勝をし、一時は優勝争いにも絡んだ。

奄美といえれば相撲

郷土出身力士 明生の活躍

身長179センチ、体重約147キロ(日本相撲協会)と幕内力士のなかでは決して恵まれた体格ではないが、磨かれたスピードから生まれる豪快な相撲は多くの相撲ファンを湧かせている。今年の9月場所では3日目から7連勝をし、一時は優勝争いにも絡んだ。

「本名」川畑明生(かわばためいせい) 1995年7月24日生まれ24歳(所属)立浪部屋(得意技)左四つ、寄り(好物)鶏飯(重信)

クイズ コクト君とまーじんま!

Q. 奄美の伝統文化である島唄では、「裏声」を使って声を出します。その「裏声」のことを何というでしょう。

- ①ニゲ声
- ②ダミ声
- ③ヤセ声



「奄美高等女学校(現奄美高校)で復帰を喜ぶ人々」(本校「百周年記念誌」171頁)

(篠原さん寄稿)

金久の扇 金色の華咲かす

大島高名物 体育祭特集



金久地区

応援の部、最優秀賞の金久地区(黄色・かねく)(金久中出身者、金久中校区の住所の生徒)の応援団の演舞の様子 団長の村田優太君(3-1)は、「こんなに楽しい時は過ごしたことはない。もっと演舞をしたい、終わってほしくないと思った」と振り返る。副団長の梅畑詩音さん(3-4)は、「本当にうれしく、優勝カップを地面に置きたくなくてずっと抱えて見つめていました」と語った。

伝統の地区対抗で白熱

9月1日(日)本校上部グラウンドにて、令和初の第71回体育祭が開催された。大島高校の体育祭は、全国的にもめずらしい6地区対抗で競われ、競技・応援ともに、各地区の名譽をかけて白熱したものである。

今年度の体育祭でも金久地区が新記録で優勝を飾り注目を集めた。生徒たちの活躍に保護者や地域の住民から、大きな声援が送られ、大盛り上がりとなった。
【菊入・玉城】

応援・ムカデとともに金久V

令和初の体育祭 大盛り上がり

今年度の体育祭では、競技の部において、1位下古地区(319点)、2位上方地区(231点)、3位笠籠地区(226点)という結果となった。また、応援の部では、最優秀賞に金久地区、優秀賞

競技の部 優勝 下古

応援優秀賞「笠籠」



ムカデ競争の金久チームのゴールの瞬間。花形競技の勝利に、団全体が歓喜につつまれた。

生徒主体の運営に自信

今年度の体育祭は例年とは異なり可能な限り生徒主体での運営が試みられた。練習から本番まで、体育科の先生方のサポートのもと、生徒会の体育部が中心となり準備や運営を進めた。体育部長の松野伊吹君(3-1)金久中出身)と副部長(先生方の存在の大きさや、練習を進めることができた。



笠籠地区

(緑色りゅうりゅう)龍旗・立利の各中学校の出身者で構成。



中南地区

(白色・ちゅうなん)大和・住用・宇検・瀬戸内の各中学校の出身者で構成。



伊津部地区

(青色・いつぶ)名瀬中出身者と名瀬中校区の住所の生徒及び離島の寮生で構成。



下古地区

(紫色・しも)小宿・大川・崎原の各中学校出身者、小宿中校区の住所の生徒で構成。



上方地区

(橙色・かみほ)朝日中・芦花部中出身者、朝日中校区の住所の生徒で構成。

大高坂登れ! 好評100円タクシー

大島高校の名所であり難所である「大高坂」。体育祭は急勾配の大高坂を登った上部グラウンドで行われるため、応援の地域住民の方々もこの坂を登らなければならない。そこで活躍しているのがPTAと本校職員で体育祭の日限定で運行する「100円タクシー」だ。片道100円で、乗り場には行列ができる。本校近くのお弁当屋さん「キツチンゆり」で働く本校卒業生のお母さんは、「100円タクシィのおかげで、おかげで体育祭を楽しめた。地域のお願い、ちゃんおはあちゃん、身体が不自由な方にとつてありがたい。これからも継続して欲しい」と話された。運行にあたる方々は、生徒の応援も我慢しての仕事を、心から感謝したい。
【玉城】



桜の名所の大高坂。急勾配も大高名物だ。

【感謝】この面の写真は、理科の東先生の撮影です。ありがとうございました。(大高ジャーナル)

文武両道で大活躍

空手道部

全九州新人女子団体3位 全日本高校大学書道展団体7位

夏秋の主な活躍

夏休みから、2学期までの部活動・各種コンクール等で大高生の活躍はめざましく空手道部が全九州高等学校空手道新人大会で女子団体3位に輝いたほか、書道部が全国高校大学書道展で団体優秀校7位・同書道展で泉優花さん(21書道)が書道展大賞を受賞した。また、高校ヒトリオバトル西日本大会で、積風我さん(3-6名瀬中)が優勝するなど体育系・文化系ともに活躍がみられた。

ハンドボール部 優勝 積風我(3年)



積風我さん(3-6名瀬中出身)

空手道部 天島地区大会
女子団体形優勝 女子個人
野球場(秋季大島地区大会)

女子バレーボール部(大島地区大会)優勝
女子バレーボール部(大島地区大会)優勝

男子バレーボール部(大島地区大会)優勝
女子バレーボール部(大島地区大会)優勝

門 高文連賞 中村明優(2-15小宿中) 川畑音文部(1-1龍南中) 文芸部(県高校生文芸コンクール)詩部門、最優秀賞 短歌部門 優秀賞 泰文奈(2-2金久中) 放送部(九州高校放送コンテスト)ラジオ部門 優良賞 八下田門士(2-15金久中)

吹奏楽部

放課後の学校に素敵なBGMを提供してくれる吹奏楽部。校舎のあちこちでパート練習を熱心に行う姿に思わず応援したくなる。7月に行われた県吹奏楽コンクールでは銀賞を獲得した。そんな吹奏楽部の練習におじゃました。取材を通して、大高吹奏楽部の強さ、こだわりをたくさん知ることができた。

合奏という工夫をしました」と語る。このことが本番で自信をもって演奏できる秘訣であり、大高吹奏楽部の強みだという。結果は、惜しくも銀賞となったが、「多くの人に大高の演奏を聞いてもらえて良かった」と勝さんは語った。



顧問の山角先生(右) 部長の勝さん(左)

7月28日に行われた県吹奏楽コンクールに参加した吹奏楽部。部長の勝沙美玲さん(2-17)は、「全員が一つにならないと完成しないというプレッシャーが常にありましたが」とコンクールを振り返る。また、離島校のため、コンクール会場に行く機会が減るなど、特に緊張したという。そんな大会の直前には「仕上げの段階なのに、いろいろな改善点が見つかり焦る気持ちもありましたが、あえてお互いに良いところを見付けて言い

指揮(がくしき)という役割の生徒が、先生の代理として練習の最初に基礎合奏をリードするという。大高吹奏楽部では、そうした役割が一人一人決められていて、その責任を各自が果たすことで、20名の大部隊の部を上手く運営しているという。マネージャー管理もほとんど生徒自身で行っていて、部活動を生徒主体で動かしている様子が感じられた。

また、演奏時の工夫として、まずその音楽の鑑賞を必ず行い、その楽曲の背景を学び、表現を工夫するということ。「これにより各自の想像力が豊かになり、元の作品の魅力が伝えられるようになり」と、本校に赴任して2年目の顧問の山角伊世先生は語る。部員たちは、各自が技術を磨くのはもちろん、曲の解釈についての意見交換も日頃から積極的にしているという。山角先生は、本校の吹奏楽部の生徒たちは「しっかりと音楽に向き合っていて、音楽愛やこだわりをたくさん持っているのが魅力です」と目を細める。

大高一番星

高井道人さん(3-3)赤木名中出身



高井君は、福岡戦の後半、5、7位決定戦、愛知戦のQ 休日はどのように過ごしていますか？

素直に嬉しかったです。鹿兒島県外の選手のプレーを見て、感じたことはありますか？

父親の経営するマリンスポーツ店で手伝いをするのがあります。力仕事なので筋トレにもなります。日頃大切にしていることはありますか？

生活リズムを崩さないことです。食事をしっかりとって、寝る前にマッサージやストレッチをします。ストレッチを忘れた次の日は身体がだるいと感じてしまいます。国体選手に選ばれて、変わったことはありますか？

以前と比べて、体つきや粘り強さが変わりました。さらに、自分がメンバーをコントロールしなければならぬという責任感やプレッシャーを感じるようになりました。

大学でも競技を続けるという高井さん。これからの活躍も楽しみです。

大学でも競技を続けるという高井さん。これからの活躍も楽しみです。

ラグビー部

本校の注目の生徒をクローアップする「大高一番星」。今回は、茨城県で開催された第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体2019)のラグビー部門でメンバー入りし、2試合に出場した高井道人さん(3-3)赤木名中出身)だ。鹿兒島県勢のラグビーの入賞は42年ぶりの快挙だ。

Q 国体選手に選ばれた感想は？

A 先輩の国体選手に憧れて練習に励んでいたのですが、自分も選ばれたことは

Q 得意なプレーは何ですか？

A タックルです。プレー中はブドレナリンが出ていて痛みは感じません！ジャンプ中にタックルされると、気づく頃には空中を一回転して地面に落ちてい

Q 国体選手に選ばれて、変わったことはありますか？

以前と比べて、体つきや粘り強さが変わりました。さらに、自分がメンバーをコントロールしなければならぬという責任感やプレッシャーを感じるようになりました。

大学でも競技を続けるという高井さん。これからの活躍も楽しみです。

大学でも競技を続けるという高井さん。これからの活躍も楽しみです。

Q 国体選手に選ばれた感想は？

A 先輩の国体選手に憧れて練習に励んでいたのですが、自分も選ばれたことは

Q 得意なプレーは何ですか？

A タックルです。プレー中はブドレナリンが出ていて痛みは感じません！ジャンプ中にタックルされると、気づく頃には空中を一回転して地面に落ちてい

Q 国体選手に選ばれて、変わったことはありますか？

以前と比べて、体つきや粘り強さが変わりました。さらに、自分がメンバーをコントロールしなければならぬという責任感やプレッシャーを感じるようになりました。

大学でも競技を続けるという高井さん。これからの活躍も楽しみです。

大学でも競技を続けるという高井さん。これからの活躍も楽しみです。

大学でも競技を続けるという高井さん。これからの活躍も楽しみです。

※大会成績等の個人名の()内の学校名は出身中学校です。

エッセイ 悠里の Vol.4 ゆるゆるり

勉強に部活動に忙しい日々を送る、奄美大島の普通の高校生の日常の思いを切り抜きました。

言葉

この地球には数えきれないくらい多くの生き物が存在している。狩りに長けていて百獣の王と称されるライオンや、どこまでも泳げるツツシ、それぞれ個性を持ちながら生きています。そして、彼らのほとんどは本能のままに行動している。意思疎通を図る手段は鳴き声や口笛。はたまたダンスなど多岐にわたる。そんな中、特に多くの手段を用いて生活する生き物がある。

私たち人間だ。手話やダンス、アイコンタクトなどパツと思いつくだけでもたくさんある。そして他のどの種にもない、ヒトだけが持つものである『言葉』もその一つだ。言葉は古くからあり、私たちの生活を支えてきた。現代の高度な文明発達も、言葉という軸がなければ夢のようにならなかつたかも知れない。言葉は私たちの人生を豊かにしてくれる力を持つ。言葉があるからこそ、周りの人に感謝の気持ちを、好きな人に好きという気持ちを伝えることができる。言葉があるからこそ、落ち込んでいるとき、誰かが発した温かい言葉で立ち直ることができたり、悩んでいるとき、ふと開いた国語の教科書の言葉に背中を押されたりする。しかし、言葉は時に鋭い凶器ともなり得る。どこかの国の権力者が発した一言で、何十万人もの人々の命を奪う戦争に繋がることもある。

何気なく投げた言葉でその人の人生を傷つけてしまうこともある。言葉というものは、まるで飛ぶことを覚えたばかりの小鳥の羽のように繊細で、危なっかしく、健気で美しい。だからこそ、私は言葉は言葉と大切にしたいといけな。相手に伝えるときは一呼吸おいて、相手の立場になり、言葉を吟味する。簡単そうでも意外とできないのが相手のことを考えること。もし世界中の大人たちができていたのならほっと、地球は今ごろ宇宙一平和で幸せな惑星になっているだろう。最後に、言葉は大切にすることにプラスして、言葉を使って自らを表現することも話すより、文字にするほうが自分の気持ちに素直になれる。だから私は文字を起し、言葉を選び、それをみんなに知って

もらうことで自分を表現している。普段生きている中ではほとんど気づくことのない『言葉』というものの偉大さ。あなたの選んだその言葉が、あなたの人生を導き、最後には世界を変えてしまうかもしれない。それだけの大きく不思議な力が言葉にはある、と私は思う。もし、この世界に言葉というものがなかったら、今日ここで私が言葉の大切さについて伝えることもできなかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。



しゅんちゅめ 釣り人発見

大高メソスの休日と言えば「釣り」。奄美の澄んだ海と青空に抱かれて釣りは島人(しまんちゅ)の心もお腹も満たす最高の趣味。今回の釣りは、秋から春が旬のスマガツオを釣り上げた源元天心君だ。



源元天心君 (2-5龍南中出身)

心君(2-5龍南中)が釣り上げたのは、味は大トロを獲獲すると言われる「スマガツオ」だ。「スマガツオ」は背側の後半部分に、不規則な横縞模様のある「ホンカツオ」と違い、胸ビレの下側、腹部にいくつか黒い斑点がある。源元君は、「スマガツオを釣ったのは初めてで、しかも、小さい魚を狙う予定だったので、とても驚いた」とのこと。仕掛は、PEラインO.6号、リーダ3号とかなり小さ

かった。源元君は竿にこだわりがあり、先調子(さきよし)という竿先部分が柔らかく曲がる竿を愛用している。柔らかいのでアタリが取りやすく、ルーア釣りにあつてもいい。スマガツオは本当に美味しい魚で、寿司やたたき、竜田揚げなど色々な食



今回の獲物スマガツオ。体長60cm! 温暖な水域を好み、太平洋からインド洋にも広く生息。全身が大トロと呼ばれるほど美味しい魚だ。

べ方がある。今回、源元君は「祖父と一緒にさき刺身とフライにした。一日で食べきれない程大きく、ぷりぷりしている」とも美味しかったとのこと。源元君の家族は全員釣り好きで、夏は泳ぐより家族で釣りをすることが多いという。近くの海に釣りに行くのが習慣で、魚を釣る度に祖父の家へ持っていく。祖父の魚専用の冷凍庫は常にいっぱいなんだとか。源

元君は「島外に進学しても、海が近い」とも語った。源元君は釣りに関して、「釣り方によって釣れる魚が変わるので、それぞれの魚の引きを味わえ、楽しめる。魚との駆け引きもあり、どうやったら釣れるのかなどを考えると本当に楽しい」とその魅力をアピール。今後の源元君の釣果に期待したい。 [中村・上月]

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。

なかつたのだ。一度きりの人生とびきり素敵な言葉でそれぞれ幸せを掴んでほしいと願う。